

「科学・技術フェスタ」へ出展します！

出張

京都大学

アカデミックデイ

二〇一三年三月十六日(土)・十七日(日)

Kyoto
University
Academic
Day

京都大学では毎年、誰でも学問の楽しさ・魅力についてコミュニケーションできる場、**京都大学アカデミックデイ**を開催しています。今回は、大学を飛び出して、「科学・技術フェスタ」に出張！京都大学の研究者による、対談形式の演目をご用意しました。異なる分野の研究者同士が、研究者になったきっかけ、研究のひみつ、果ては趣味のあれこれなど、多彩なお話を繰り広げます。

会場：京都パルスプラザ(京都市伏見区竹田鳥羽殿町5) 参加費無料

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/>

お問い合わせ 京都大学(学術研究支援室、研究国際部研究推進課、「国民との科学・技術対話」ワーキンググループ)

TEL: 075-753-2081 E-mail: kenkyu-taiwa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

対談1 三月十六日(土) 十時半—十二時

「研究者の○○の話」

阿部賢太郎(京都大学生存圏研究所)

× 原田浩(京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット)

対談2 三月十六日(土) 十四時—十五時半

「神話から百年後の未来を想像してみよう」

江間有沙(京都大学白眉センター/京都大学大学院情報学研究所)

× 増田智先(京都大学医学部附属病院)

対談3 三月十七日(日) 十時半—十二時

「人付き合いの心理と数理」

厚見悠(京都大学大学院理学研究科)

× 佐藤弥(京都大学白眉センター/京都大学霊長類研究所)

対談4 三月十七日(日) 十四時—十五時半

「理系×文系 ガチ」

小石かつら(京都大学白眉センター/京都大学人文科学研究所)

× 豊島文子(京都大学ウイルス研究所)

2日間で計4回、異分野の研究者による対談を行います。そこではきっと、学問の魅力が感じられ、様々な発見があることでしょう。小学生でも、中学生でも、高校生でも、大学生でも、ご家族連れでも、お一人でも、この日はどうぞ「科学・技術フェスタ」京都大学出展ブース「出張」京都大学アカデミックデイにお越しください。

対談1

3月16日(土) 10:30 - 12:00

阿部賢太郎 × 原田浩 「研究者の〇〇の話」

阿部賢太郎(京都大学生存圏研究所 生物機能材料分野 助教)

名古屋大学大学院博士課程修了(農学)。京都大学現研究室に拾っていただきました。私の研究は、1. 樹木はどうやって立っているのか? 2. 樹木を支えるナノ繊維「セルロースナノファイバー」を用いた新しい材料開発です。今回、研究は特別じゃなくて、誰の前にも研究の扉は開かれていることもお伝えできたらと思っています。

原田浩(京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット 放射線腫瘍生物学 講師)

名古屋大学大学院・博士(理学)。某企業の医薬品研究所でサラリーマンとしてがん研究をスタート。縁あって京都大学医学研究科放射線腫瘍学の助教に転職し、同講師を経て2009年より現所属にて研究室を主宰。治療後のがんが再発するメカニズムの解明を研究しています。スノーボードとキャンプが趣味の2児の父です。

対談2

3月16日(土) 14:00 - 15:30

江間有沙 × 増田智先 「神話から百年後の未来を想像してみよう」

江間有沙(京都大学白眉センター/京都大学大学院情報学研究所 特定助教)

東京大学大学院博士課程修了(学術)。専門は科学技術と社会の関係について研究する科学技術社会論。今回の「対話」では、さまざまな時代の人たちが想像・シミュレーションした「未来の科学技術や社会」を紹介することで、会場の皆さんと科学技術の在り方や未来について、一緒に考えてみたいと思います。

増田智先(京都大学医学部附属病院薬剤部 講師)

京都大学大学院博士課程修了(薬学)。京大病院の助手、講師となり現在に至ります。一步使い方を間違えば「毒」となる「クスリ」の、一人ひとりの体質にあった使い方を目指して研究をしています。中でも、移植医療に欠かせない免疫抑制薬とクスリによる腎障害に注目して研究をしていたら、早いもので10年以上が経ちました。

対談3

3月17日(日) 10:30 - 12:00

厚見悠 × 佐藤弥 「人付き合いの心理と数理」

厚見悠(京都大学大学院理学研究科 博士課程)

京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻在籍。数学や物理は趣味と研究を兼ねて続けています。科学の様々な話に関心があり、自分の専門で特に必要とされている物理や数学以外の他分野についても、普段からアンテナを張っています。分野間の融合についても非常に興味を持っており、文理の境界を越えた議論をできたらと思っています。

佐藤弥(京都大学白眉センター/京都大学霊長類研究所 特定准教授)

京都大学大学院博士課程修了(教育学)。社会的相互作用を生み出す無意識で感情的な心のはたらき、特に表情や視線につられるといった心のはたらきを調べています。心理学実験によって心の本質的な情報処理を解明し、神経科学実験によってその内部過程を神経基盤に基づいて同定します。発達障害者を対象とした研究も行っています。

対談4

3月17日(日) 14:00 - 15:30

小石かつら × 豊島文子 「理系 × 文系 ガチ」

小石かつら(京都大学白眉センター/京都大学人文科学研究所 特定助教)

京都市立芸術大学大学院修士課程修了(ピアノ)。ピアニストとして「音で」ではなく、「言葉で」音楽にせまりたいと思い、音楽学に転向。ライプツィヒ大学、ベルリン工科大学を経て、大阪大学大学院博士課程修了(文学)。オーケストラの演奏会の成立史を研究しています。『レコード芸術』誌等で音楽批評も担当しています。

豊島文子(京都大学ウイルス研究所 教授)

京都大学大学院博士課程修了(理学)。京都大学生命科学研究科で研究員、助手、JST さきがけ研究者を経て現職。人の体を構成する細胞が、いつ、何処で、どのように増殖し、組織の形作りや恒常性維持に貢献しているのかを研究しています。現在は、ライフステージに伴う皮膚の変化を細胞の観点から解明し、美肌に貢献したいと思っています。

「科学・技術フェスタ」開催概要 <http://www.science-festa.jp/>

日時：2013年3月16日(土)・17日(日)10:00-17:00 会場：京都パルスプラザ

「科学・技術フェスタ」は内閣府等機関の主催により、将来の科学技術を担う世代(高校生、中学生、小学生等の青少年)の科学・技術に対する関心を深めることを目的に開催される、最先端の科学・技術の成果などの発表や最先端の科学・技術の成果に関する展示、参加型イベントです。京都大学は、本学の「国民との科学・技術対話」の活動の一環として、この「科学・技術フェスタ」に「出張」京都大学アカデミックデイを出展します。

※16日・17日は地下鉄烏丸線・近鉄京都線「竹田駅」西口より会場「京都パルスプラザ」への臨時バスが運行されます。